

**IHI**

**2012年3月期  
決算説明資料**

**2012年5月8日  
株式会社IHI**



## 2012年3月期 連結決算の概要

	2010年度	第3四半期公表時予想(前回見直し) (億円)		増減
		13,000	2011年度	
受注高	12,009	13,000	12,696	▲ 303 686
売上高	11,872	12,000	12,218	218 345
営業利益	613	430	433	3 ▲ 180
経常利益	514	330	417	87 ▲ 97
税引前当期純利益	474		543	68
当期純利益	297	220	238	18 ▲ 59

特段の記載がない限り、各項目の数値は億円未満を切り捨てて表示している。

# 営業外損益及び特別損益

(億円)

	2010年度	2011年度	増 減
金融収支	▲ 20	▲ 18	1
為替差損益	▲ 42	0	43
持分法による投資損益	3	6	2
その他	▲ 39	▲ 4	35
営業外損益	▲ 99	▲ 16	82
特別損益	▲ 40	126	166

2011年度の特別損益(126億円)の主な内訳 :

投資有価証券売却益	141億円
固定資産売却益	34億円
災害保険金収入	20億円
環境保全対策費用	▲41億円
減損損失	▲21億円

# セグメント別 受注高

(億円)

	受 注 高		
	2010年度	2011年度	増 減
資源・エネルギー	3,328	3,128	▲ 199
船舶・海洋	1,608	767	▲ 841
社会基盤	1,033	1,995	962
物流・産業機械	1,448	1,655	207
回転・量産機械	1,418	1,615	196
航空・宇宙	3,110	3,311	200
その他	1,095	1,052	▲ 43
調整額	▲ 1,034	▲ 829	204
合計	12,009	12,696	686

# セグメント別 売上高・営業利益

(億円)

	売上高			営業利益		
	2010年度	2011年度	増減	2010年度	2011年度	増減
資源・エネルギー	3,064	3,123	59	224	109	▲ 115
船舶・海洋	1,899	1,762	▲ 136	109	79	▲ 30
社会基盤	1,224	1,147	▲ 76	119	82	▲ 36
物流・産業機械	1,419	1,529	110	29	56	27
回転・量産機械	1,403	1,658	254	94	104	9
航空・宇宙	2,737	2,994	257	58	60	2
その他	1,143	1,073	▲ 70	21	11	▲ 9
調整額	▲ 1,019	▲ 1,070	▲ 51	▲ 43	▲ 71	▲ 27
合計	11,872	12,218	345	613	433	▲ 180

# 営業利益の前期比増減要因

(億円)

	売上高の 増 減	工事採算 の変動	資材費の 変 動	為替の 変 動	販管費の 変 動	合 計
資源・エネルギー	▲ 56	▲ 54	▲ 2	▲ 18	15	▲ 115
船舶・海洋	▲ 25	13	▲ 5	▲ 18	5	▲ 30
社会基盤	▲ 15	▲ 18			▲ 3	▲ 36
物流・産業機械	21	13			▲ 7	27
回転・量産機械	55	▲ 3			▲ 43	9
航空・宇宙	16	30	▲ 3	▲ 39	▲ 2	2
そ の 他	▲ 9	8			▲ 9	▲ 9
調 整 額		▲ 36			9	▲ 27
合 計	▲ 13	▲ 47	▲ 10	▲ 75	▲ 35	▲ 180

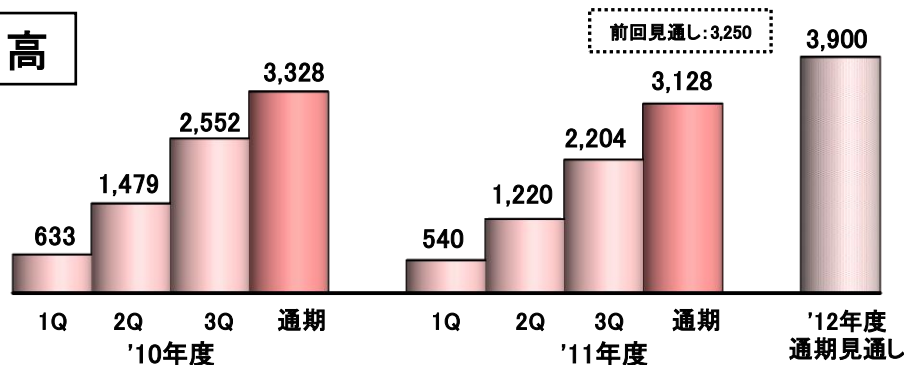
セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

# 資源・エネルギー

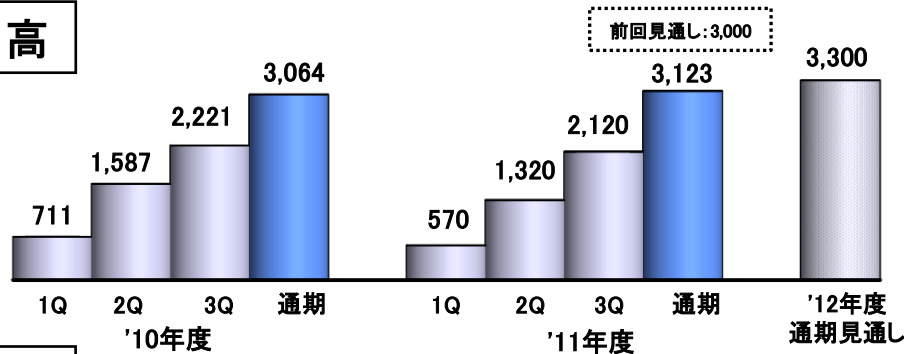
(億円/各期の金額は累計)

主要製品:ボイラ, 原子力機器, 原動機プラント, 陸船用原動機, 化学プラント, 貯蔵設備, F-LNG

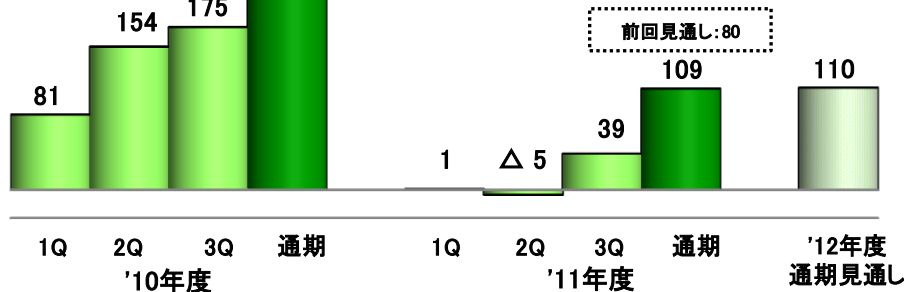
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前期 増減内訳>

#### 【受注高】

原動機プラント, ボイラ, 化学プラントが増加したものの, 貯蔵設備, 原子力機器が減少したため, 前期比 **▲199億円(▲6.0%)** となった。

#### 【売上高】

化学プラント, 原子力機器で減収となったものの, 貯蔵設備, ボイラ, 原動機プラントで増収となったため, 前期比 **+59億円(+1.9%)** の増収となった。

#### 【営業利益】

化学プラント, 原子力機器の減収及びボイラの採算の悪化により, 前期比 **▲115億円(▲51.2%)** の減益となった。

### <対今回見通し 増減内訳>

#### 【受注高】

貯蔵設備, ボイラの受注が増加

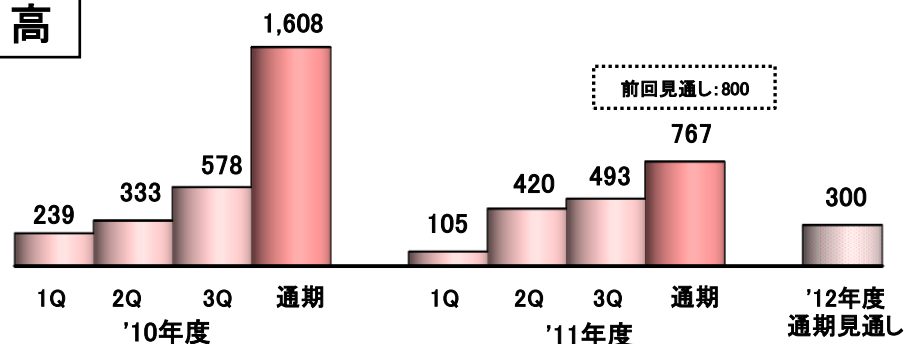
#### 【売上高・営業利益】

ボイラで増収増益, 研究開発費増加

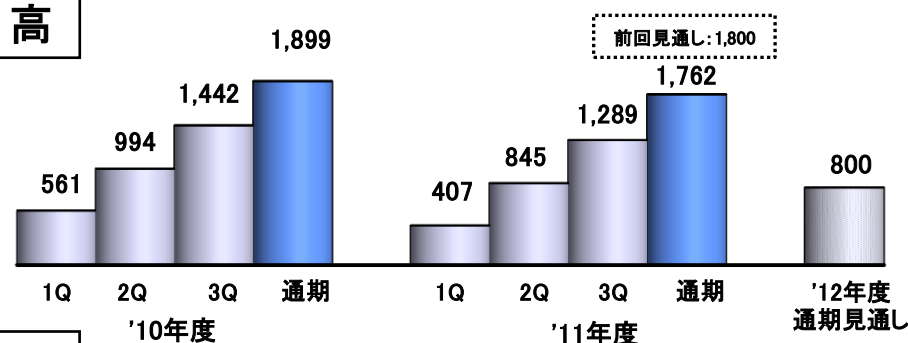
(億円/各期の金額は累計)

主要製品:新造船, 修理船

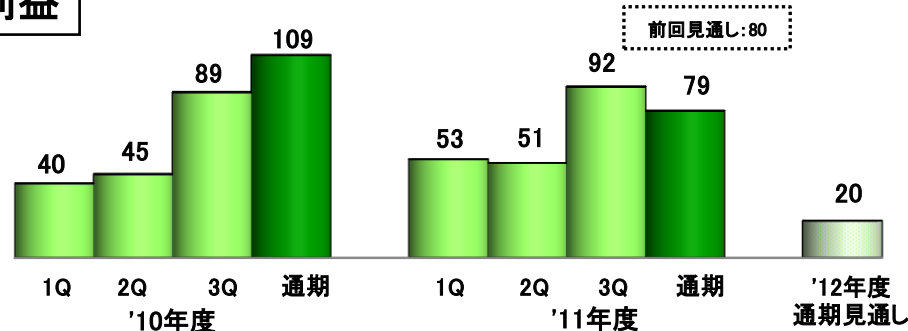
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前期 増減内訳>

#### 【受注高】

・新造船受注が9隻(タンカー3隻, バルクキャリア5隻, 電気推進船1隻)と低調に推移したため, 前期比 ▲841億円(▲52.3%)となった。  
 ・前期における受注隻数は, 11隻(タンカー1隻, バルクキャリア8隻, 艦艇・巡視船2隻)であった。

#### 【売上高】

・新造船, 修理船ともに減収となり, 前期比 ▲136億円(▲7.2%)の減収となった。

#### 【営業利益】

・減収及び円高の影響により, 前期比 ▲30億円(▲27.9%)の減益となった。

### <対今回見通し 増減内訳>

#### 【受注高・売上高・営業利益】

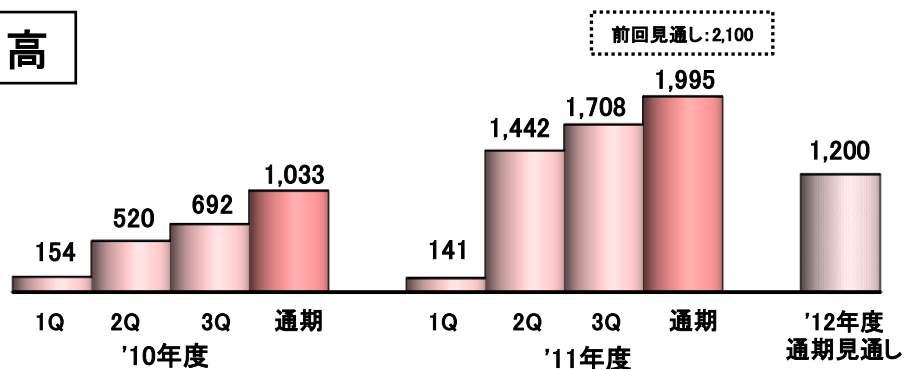
下期を除外



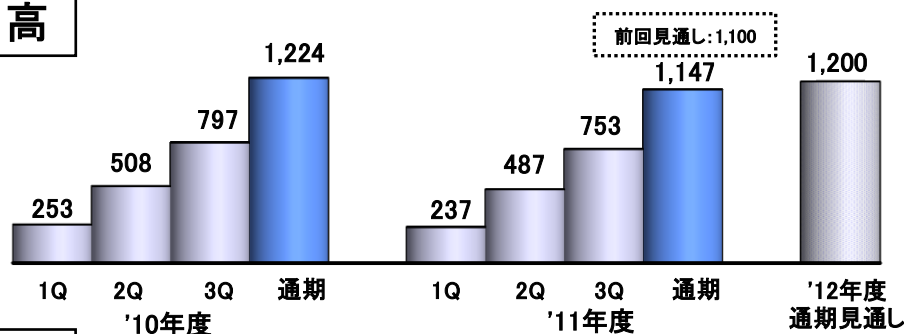
(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 橋梁, 水門, コンクリート製品, 掘進機, 不動産分譲・賃貸

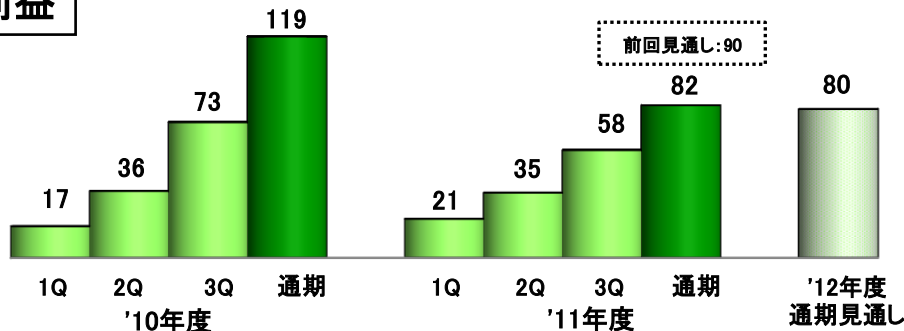
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前期 増減内訳>

#### 【受注高】

イズミット湾横断橋(トルコ)の受注により、橋梁が大幅に増加し、前期比 **+962億円 (+93.1%)** となった。

#### 【売上高】

不動産賃貸において増収となったものの、橋梁、水門の減収により、前期比 **▲76億円 (▲6.3%)** の減収となった。

#### 【営業利益】

減収により、前期比 **▲36億円 (▲30.4%)** の減益となった。

### <対今回見通し 増減内訳>

#### 【受注高】

橋梁の受注が減少

#### 【売上高・営業利益】

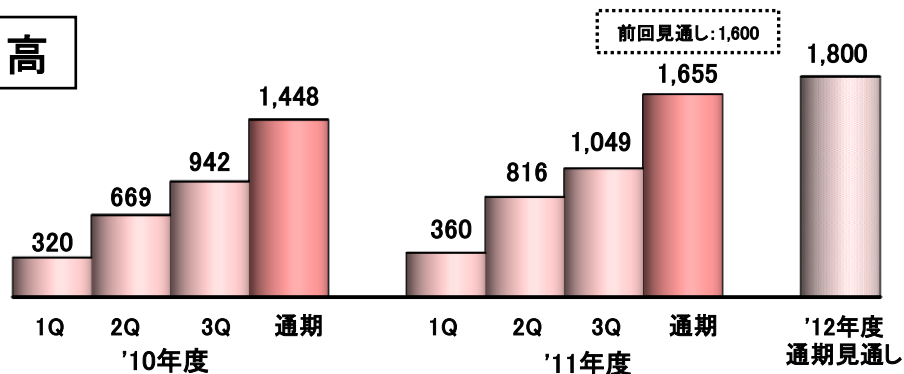
前年度並み

# 物流・産業機械

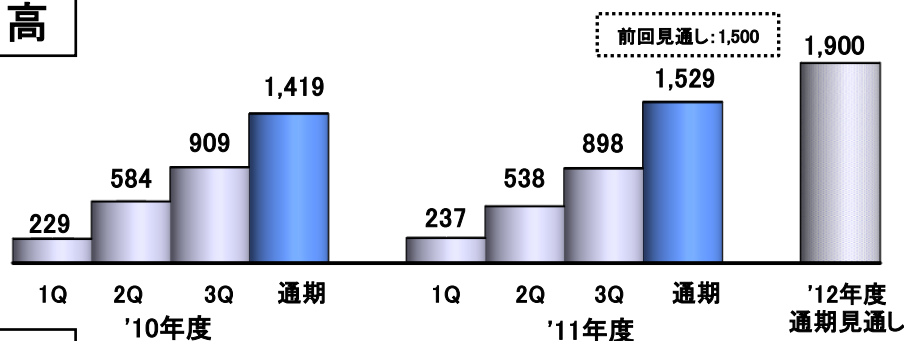
(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 運搬機械, 物流システム, 駐車装置, 製鉄機械, 産業機械,  
製紙機械, 交通システム

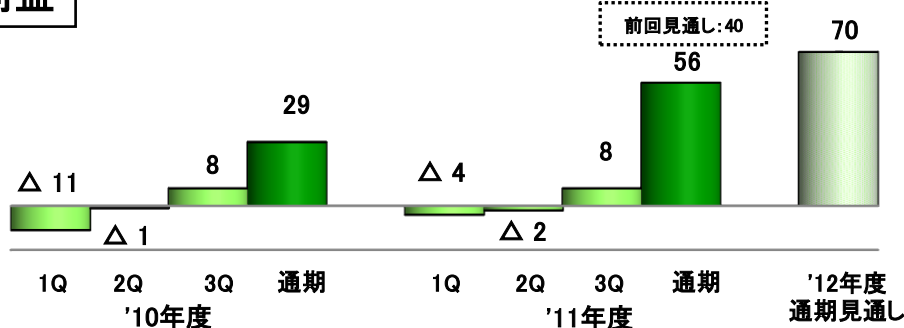
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前期 増減内訳>

#### 【受注高】

製鉄機械及び交通システムが国内外で増加し, 前期比 +207億円(+14.3%)となった。

#### 【売上高】

製鉄機械, 運搬機械の増収により, 前期比 +110億円(+7.8%)の増収となった。

#### 【営業利益】

運搬機械の増収に加え, 物流システムの採算性向上が寄与し, 前期比 +27億円(+93.5%)の増益となった。

### <対今回見通し 増減内訳>

#### 【受注高】

製鉄機械が増加

#### 【売上高・営業利益】

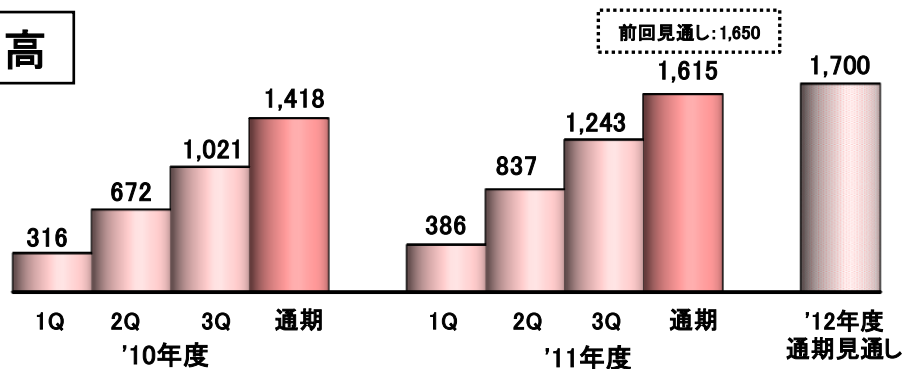
製鉄機械で増収増益

# 回転・量産機械

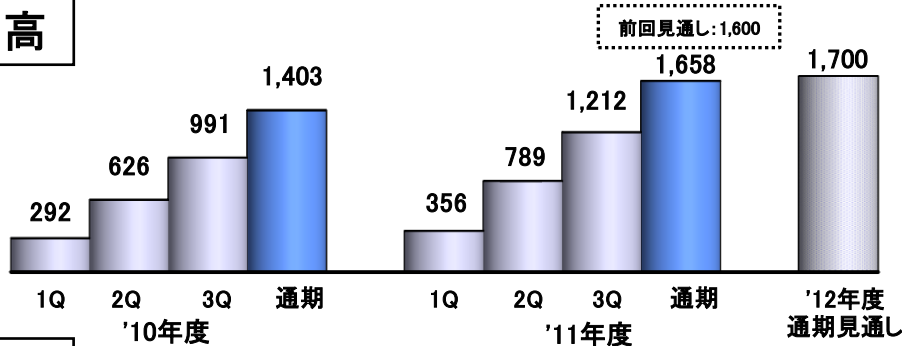
(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 圧縮機, 分離装置, 車両用過給機

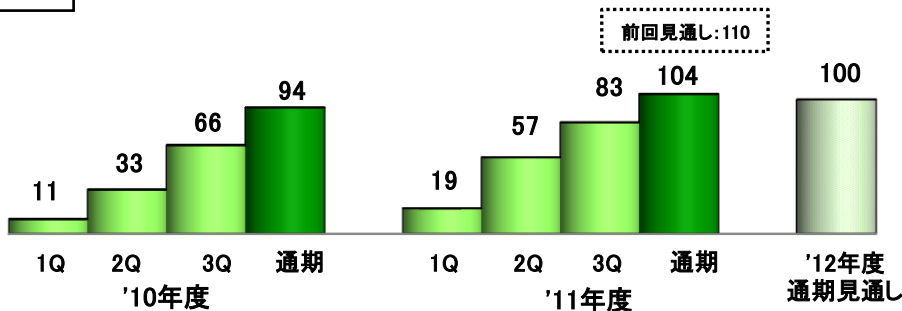
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前期 増減内訳>

#### 【受注高】

自動車市場の回復を受けて、車両過給機の受注が増加したため、前期比 +196億円 (+13.9%)となった。

#### 【売上高】

車両過給機の受注増加に伴い、前期比 +254億円 (+18.1%)の増収となった。

#### 【営業利益】

固定費の増加はあったが、増収により、前期比 +9億円 (+9.6%)の増益となった。

### <対今回見通し 増減内訳>

#### 【受注高】

車両過給機の受注が増加

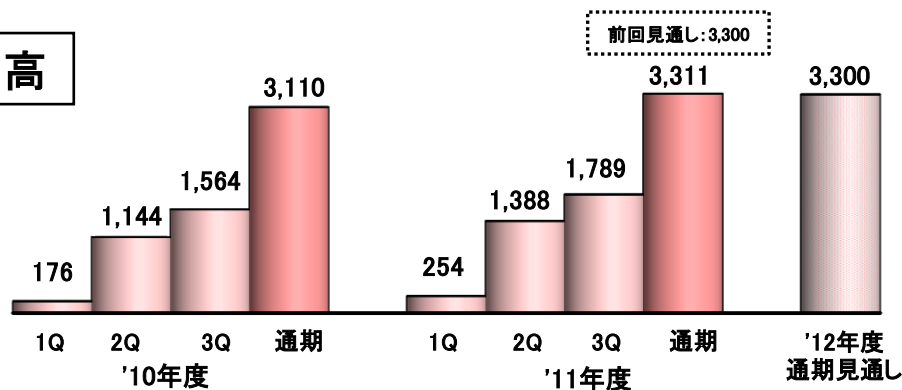
#### 【売上高・営業利益】

車両過給機で増収, 研究開発費増加

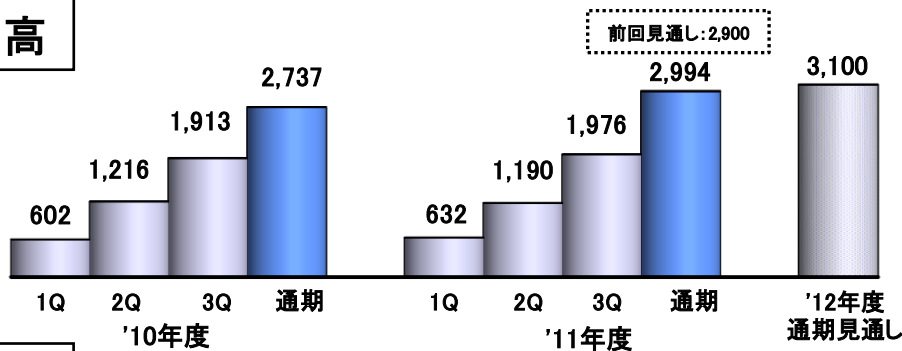
(億円/各期の金額は累計)

主要製品:航空エンジン, 宇宙開発関連機器, 防衛機器システム

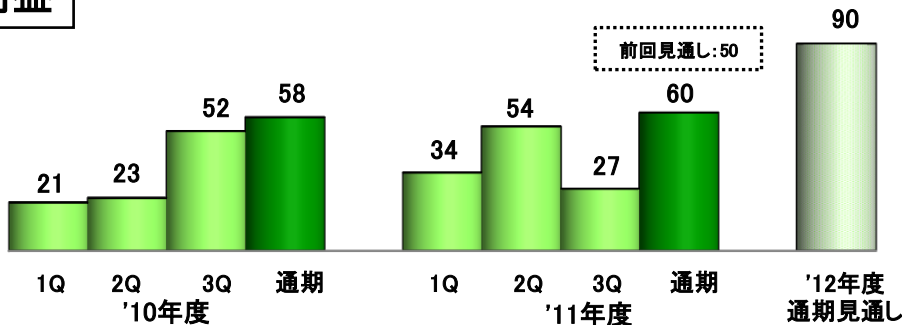
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前期 増減内訳>

#### 【受注高】

主として防衛省向けの航空エンジンが増加し, 前期比 +200億円(+6.5%)となった。

#### 【売上高】

防衛省及び民間向けエンジンがともに増収となり, 前期比 +257億円(+9.4%)となった。

#### 【営業利益】

円高の影響もあったが, 増収及び採算性の向上により, 前期比 +2億円(+4.0%)となった。

### <対今回見通し 増減内訳>

#### 【受注高】

前年度並み

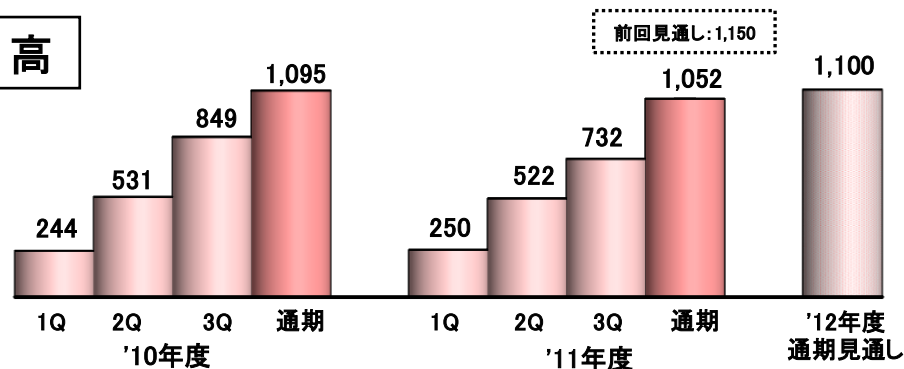
#### 【売上高・営業利益】

民間向けエンジンで増収増益, 採算改善

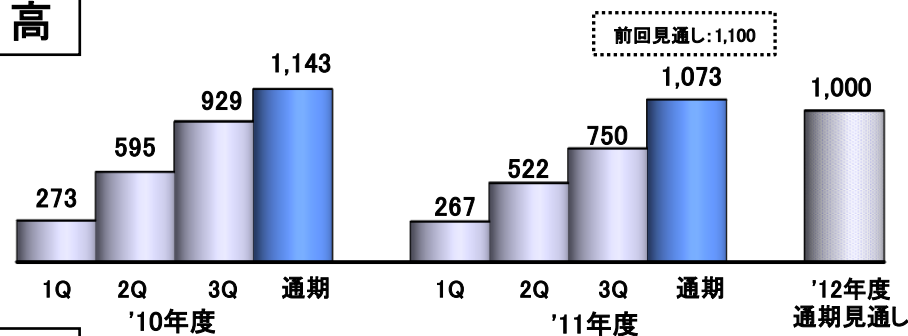
(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 船用ディーゼルエンジン, 建設機械, 農業機械, その他サービス業

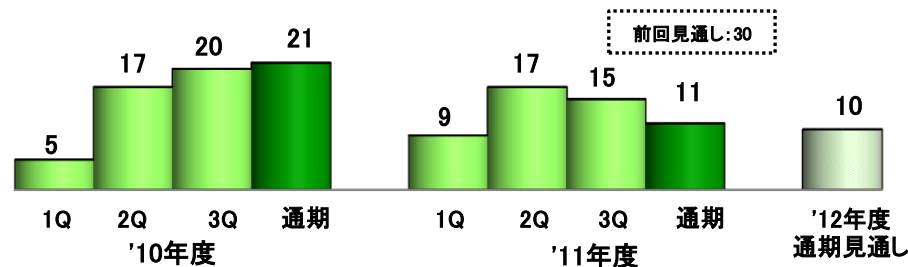
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### <対前期 増減内訳>

#### 【受注高】

農業機械, 建設機械が減少したことにより, 前期比 ▲43億円(▲4.0%)となった。

#### 【売上高】

船用ディーゼルエンジン, 農業機械の減収などにより, 前期比 ▲70億円(▲6.2%)の減収となった。

#### 【営業利益】

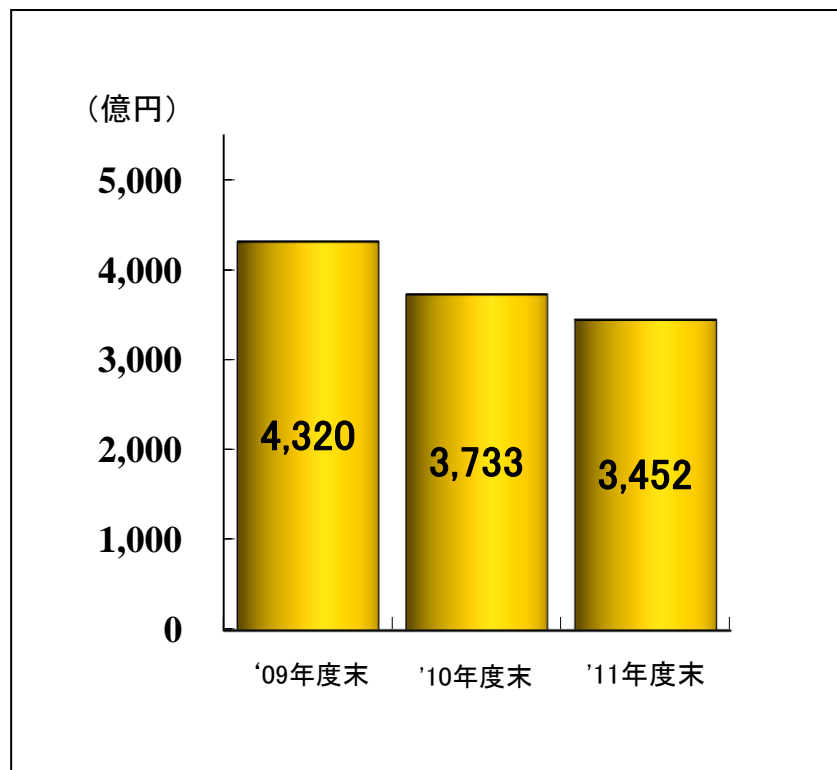
前期比 ▲9億円(▲46.2%)の減益となった。

### <対今回見通し 増減内訳>

#### 【受注高・売上高・営業利益】

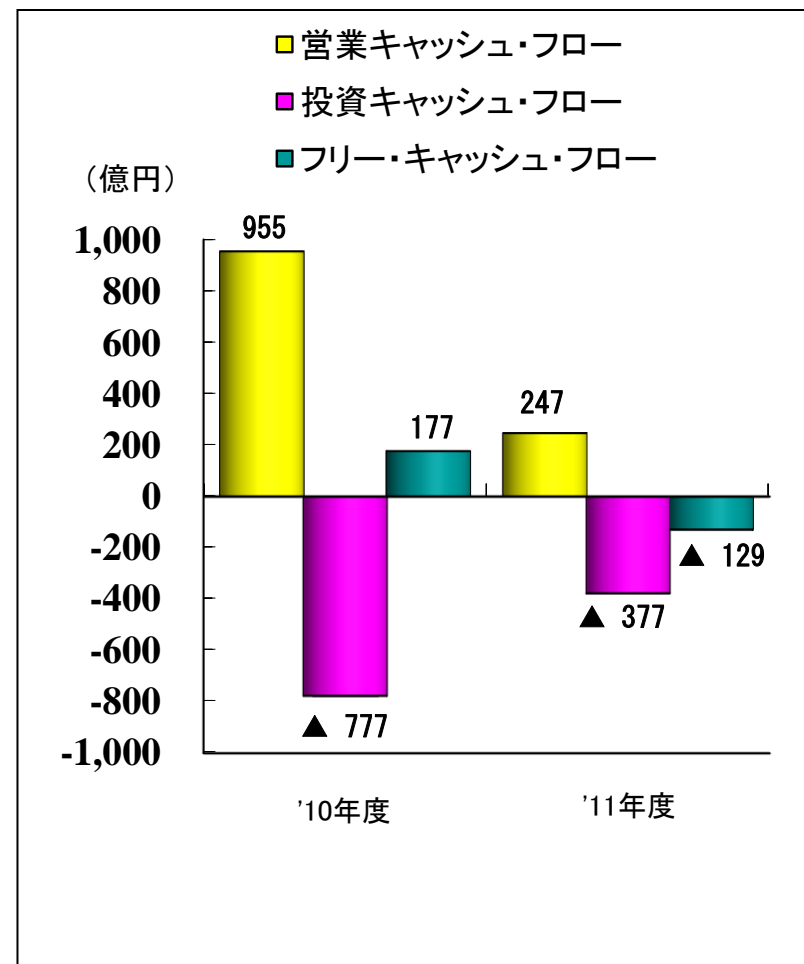
前年度並み

## 連結有利子負債



有利子負債残高には、リース債務残高（'09年度末：138億円、'10年度末：127億円、'11年度末：156億円）を含む。

## 連結キャッシュ・フロー



# 研究開発費・設備投資額・減価償却費

(億円)

	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 見通し
研究開発費	292	300	330
設備投資額	863	535	560
減価償却費	382	411	440

# 2013年3月期 通期連結業績見通し

前提為替レート

米ドル  
ユーロ

80円  
105円

(億円)

	2011年度 実績	2012年度 見通し	増 減
受 注 高	12,696	12,500	▲ 196
売 上 高	12,218	12,200	▲ 18
営 業 利 益	433	400	▲ 33
経 常 利 益	417	300	▲ 117
当 期 純 利 益	238	250	11



# セグメント別 連結業績の見通し

(億円)

	2012年度見通し			対実績 増減		
	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
資源・エネルギー	3,900	3,300	110	771	176	0
船舶・海洋	300	800	20	▲ 467	▲ 962	▲ 59
社会基盤	1,200	1,200	80	▲ 795	52	▲ 3
物流・産業機械	1,800	1,900	70	144	370	14
回転・量産機械	1,700	1,700	100	84	41	▲ 4
航空・宇宙	3,300	3,100	90	▲ 11	105	29
その他	1,100	1,000	10	47	▲ 73	▲ 1
調整額	▲ 800	▲ 800	▲ 80	29	270	▲ 9
合計	12,500	12,200	400	▲ 196	▲ 18	▲ 33

(注)2012年度の船舶・海洋事業については、下期を除外している。

## 2013年3月期見通し営業利益の前期比増減要因

(億円)

	売上高の 増 減	工事採算 の変動	販管費の 変 動	合 計
資源・エネルギー	▲ 20	55	▲ 35	0
船舶・海洋	▲ 59			▲ 59
社会基盤		▲ 3		▲ 3
物流・産業機械	15	14	▲ 15	14
回転・量産機械	10	1	▲ 15	▲ 4
航空・宇宙	15	14		29
そ の 他		▲ 1		▲ 1
調 整 額			▲ 9	▲ 9
合 計	▲ 39	80	▲ 74	▲ 33

セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

Explore the Engineering Edge

IHI

#### ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。